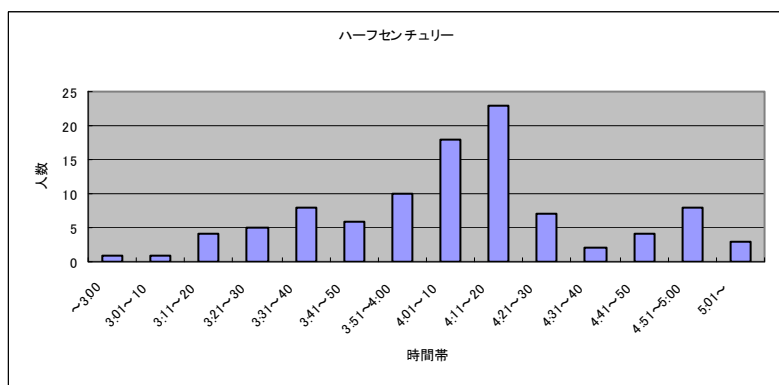
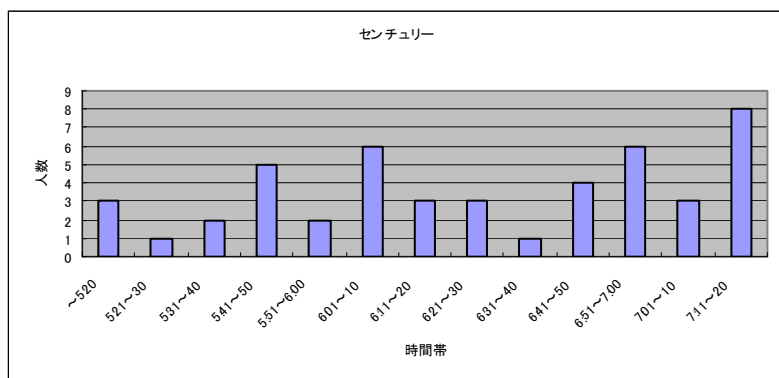


## 【センチュリーラン終わる】

第21回センチュリーラン埼玉が5月14日（日）吉見総合運動公園管理センターを主会場として開催された。178名のエントリーに対して208名が参加し、日頃のトレーニングの成果を発揮すべく各コースに挑戦した。スタート時点では曇りだったが、午後には薄日がさし、ちょっときつい条件となった。

今回も事故一つなく、無事大会を終了することができた。これも役員の協力は勿論、参加者の協力なくしては出来ないことである。あらためて全員に感謝したい。



## 多数回参加（敬称略）

### < 5回参加 >

大山 等、長島昌次、渡辺 剛、三苫正則、服部敏行、大館 仁、松本猛志、下田一郎、平松 弘  
千葉寿夫、海老原英樹

### < 10回参加 >

林 延司、河内勲夫、土井智行、清水文男、小島洋一、伊地知弘章、金井 清、川邊良治、秋山勝美

### < 15回参加 >

佐藤由頼泰、

## < インフォメーション >

### ○埼玉県サイクリングラリー

第48回埼玉県サイクリングラリーは富士見周辺で開催します。

日 時 平成18年9月23日（日）9時

集合場所 浦和地方庁舎（協会事務局）

コース 地方庁舎⇒志木市立郷土資料館⇒せせらぎの小径⇒いろは親水公園⇒水子貝塚公園⇒難波田城公園⇒  
地方庁舎 走行距離30km

参加費 500円（バッジ代、保険）

申し込み 8月30日（水）までに協会に申し込しこんでください。

## ○協会50周年記念事業：ぐるっと埼玉ポイント50

埼玉県内の走りどころ、見どころ、食べどころ等50ポイントを指定しました。そのポイント周辺をサイクリングし、レポートを協会に提出して下さい。獲得ポイント数により賞品を差し上げます。

※申込書に必要事項を記入し、参加費1,000円を小為替か振替で協会までお納め下さい。

<郵便振替> 00170-8-56228 埼玉県サイクリング協会

## ○第5回ハーフセンチュリーラン開催概要

期 日 平成18年10月29日(日) ※雨天決行

会 場 行田サイクリングセンター

集合・スタート 集合=8:00(行田サイクリングセンター)、スタート=8:30~

内 容 規定された自転車で、設定コースの一般道路(サイクリング専用道路を含む)を交通法規を厳守して5時間以内で走る。レースではないので参加者相互の助言・協力はよいが大会規則に違反した場合は失格とする。

コ ー ス 参加申込者にコース地図を配布する。 スタート・ゴール地点=行田サイクリングセンター

※コース:センター→吉見→川島→伊奈→利根大堰→センター(約80km)

定 員 150名(先着順)

参 加 費 SCA会員2,000円 一般3,000円(傷害保険他:記念品なし)

※他県協会の登録者は一般扱いです。また一旦納入された参加費はお返しできません。

申 込 所 定の申込用紙に必要事項を記入し参加費を添えて協会か最寄りの連絡所へ。

募 集 期 間 平成18年8月23日(土)~9月20日(水)

## 第50回全国サイクリング大会

### 第42回関東甲信越ブロックサイクリングラリー神奈川大会開催概要

主 催 (財)日本サイクリング協会、関東甲信越サイクリング協議会

主 管 (財)日本サイクリング協会神奈川支部、神奈川県サイクリング協会

期 日 平成18年10月1日(日)~2(月)

開 催 地 横浜市、鎌倉市

会場・宿舎 パシフィコ横浜、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

会 費 JCA会員 23,000円(1泊2日2食、保険代他)、一般 25,000円(1泊2日2食、保険代他)

コ ー ス ①鎌倉街道コース、②文明開化コース

募 集 人 員 700名

申 込 締 切 2006年8月10日

※詳細はJCAから送付された要項参照

≧事務局だより≧

#### ■常任理事会

7月22日18時~別館A会議室

出欠は当日の14時までをお願いします。

■夏期期間中(7月~8月)の事務取扱は、原則として毎週水曜日10時~16時、第1・3土曜13時~16時開局です。また8月3日~16日は夏期休みとなります。※来局の時は事前に電話にて確認して下さい。

大会等の問い合わせで事務局不在のときは留守番電話、FAX、E-mailをご利用下さい。

#### 《編集後記》

■ ワールドカップはサムライニッポンが予選敗退でちょっと熱がさめたが、ベスト4に残ったチームはいずれもつわども揃い。まだまだ日本の力はBクラスなのかもしれない。監督、選手のことであれこれマスミで取り出されているが、技量不足はゆがめない。4年後を目指し頑張ってもらいたい。

■ 家族間のトラブルが絶えない。家族間のコミュニケーションがうまくいっていないようだ。定年になり子供誕生以来書いて子供日記を整理始めたが、その日その日に子供と向き合ってきたことが思い出される。子供はもう大人になり、一緒に行動も少なくなったが、子供時代のスキンシップはけして忘れないだろう。事件当事者がもっと子供と真剣に向き合っていたら悲惨な事態は避けられたかもしれない。